

カテゴリー	年 Vol 巻 演題	執筆者
2021 74	5 宇宙と科学の地平線	山崎直子
	4 持続可能な社会構築における化学産業の役割	森川宏平
	3 「化学」 これからの研究	堂免一成
	2 地に足をつけた産学官の連携推進を	多田啓司
	1 社会化学—EfficiencyからSufficiencyへ	阿尻雅文
	12 自然科学と社会科学のInterface	掬川正純
	11 これからの日本	太田博道
	10 廃プラスチックのサーマルリサイクル	阿部正彦
	9 コロナ危機? : 格差と生産性~“量子”の時代へ	小柴満信
	8 学会活動は何のため?	岡田哲男
	7 研究の動機	永田恭介
	6 地球と共存する化学	小林喜光
2020 73	5 学術研究と社会との接点	千葉一裕
	4 学会発表のみならず論文執筆を	淵上寿雄
	3 学生会員・若手研究者へのメッセージ	黒田一幸
	2 「学び」と「寛容」	高木昌宏
	1 デジタル化時代における数学の新たな役割	小谷元子
	12 創薬研究にける思い	長瀬 博
	11 国際周期表年2019を楽しもう	川合眞紀
	10 科学技術イノベーションの推進	北城恪太郎
	9 ムーアの法則を超える論文数	樋口知之
	8 文科省はこれでよいのか?	中島路可
	7 環境問題と化学	野上祐作
	6 薬学教育の変遷と今後	石井啓太郎
2019 72	5 Globalization in Education in Japan	Tony Kung Ming SHING
	4 ころ豊かな毎日のために	松尾恵子
	3 日本の研究の特質と現状	廣田 襄
	2 科学技術研究の方向性	木野邦器
	1 The Role of a National Chemical Society in the 21st Century	Pat N. Confalone
	12 SDGs, Diversity and Inclusion	黒田玲子
	11 自動車工業と化学	大聖泰弘
	10 「食」はどこに向かうのか	大澤謙二
	9 一本のボトル	長田裕之
	8 化学に助けられて	上田由紀子
	7 今さら? 今なお, 男女共同参画	加藤昌子
	6 世界の化学会を目指して	川合眞紀
2018 71	5 新次元のグローバル競争戦略	新宅祐太郎
	4 健康長寿社会の実現に向けた化学産業の貢献	川橋信夫
	3 現代はなぜ「感性の時代」なのか	志岐幸子
	2 理工系出版社の役割とは何か	曾根良介
	1 企業の基礎研究について (追憶)	辻 二郎
	12 ネガティブデータの共有とAI	吉田潤一
	11 科学者精神—ひたむきさと謙虚さと	御園生誠
	10 科学の凄味, 魅力	浅野敏雄
	9 日本の化学産業への期待	山名昌衛
	8 化学反応と企業経営	濱 逸夫
	7 起業のすすめ	佐藤幸蔵
	6 ネットワーク型研究所	白木澤佳子
2017 70	5 標準品に見る試薬の将来像	野澤 学
	4 街の動きから拾う学び	菅原公一
	3 傷だらけの研究人生	正田晋一郎
	2 日本の科学研究・教育は何を目指す?	川合眞紀
	1 アカデミアと産業	本庶 佑

## ①巻頭言

カテゴリー	年 Vol 巻 演題	執筆者		
①巻頭言	2016 69	12 未来を切り拓く実践的・学際的博士人材の育成	朝日 透	
		11 人を育てる	木村 孟	
		10 化学のイメージアップを期待する	岡本佳男	
		9 化学は物質創成を柱とした科学分野である	茅 幸二	
		8 日本の化学産業の方向性	佐藤穂積	
		7 過熱するアクティブ・ラーニング	齊藤幸一	
		6 次世代を開く日本化学会へ	山本 尚	
		5 次はAIでおもしろい研究を	柳田敏雄	
		4 大学における安全衛生管理	大嵩幸一郎	
		3 「科学」で「技術」を支援する	栗原和枝	
		2 企業内R&Dとサイエンス	浅見正弘	
		1 もっと知ってほしい化学物質の2つの顔	小坪 遊	
		2015 68	12 女性研究者の“見える化”, 日本化学会では進んでいますか?	大坪久子
			11 日本の将来と大学教育の役割	榊裕之
			10 「リケジョ」を応援する	内海房子
			9 科学 (Science), 良心 (Conscience), 責任 (Responsibility)	北原和夫
			8 されどわれらが日々——	大峯巖
			7 大学の国際化に思うこと	青山藤詞郎
			6 化学の役割と化学への期待	中鉢良治
			5 化学のイノベーションを支える「ヒト」を育むために	茂木正
			4 化学の力で資源創出を	藤原健嗣
			3 日本の化学産業の将来——機能性化学品・材料で世界を先導せよ	近藤忠夫
			2 発明は誰のものか?	辻尚志
			1 「やせ我慢の美学」のすすめ	千葉泰久
		2014 67	12 研究に戦略を	川合知二
			11 会社で研究開発に携わる人達へ——日本の化学産業の飛躍を願って	蜷川洋一
		10 自然に学び, 自然の叡智を人間の叡智に	上ノ山智史	
		9 大学改革に何が問われているか	林勇二郎	
		8 感動を呼ぶサイエンス	北川進	
		7 科学技術者としての新たな役割	入野野修	
		6 日本再興の鍵は化学に基づくイノベーション	榊原定征	
		5 日本の化学産業: リーディング・インダストリーになれるか?	藤田照典	
		4 世界が注目する国際会議	吉田善一	
		3 「科学」と「技術」の発展のために	杉山圭吉	
		2 2020年あなたの目標は?	藤吉建二	
		1 節目の年	黒田玲子	
	2013 66	12 オンライン教育革命	府川伊三郎	
		11 感性豊かな理科好きを増やそう	大藏律子	
		10 分析なくして化学工業は成り立たず	堀場雅夫	
		9 リスクを理解するための教育	安井至	
		8 レオロジーと日本化学会	上田隆宣	
		7 分野横断ネットワーク	坂東昌子	
		6 化学のキラー・アプリ	澤本光男	
		5 事実を受け入れ, 国際化を受け入れ, アジア全体として考える	増原宏	
		4 工学の社会的使命と技術の社会技術化科学のすすめ	柘植綾夫	
		3 世界観の違いも楽しめる世界に	渡部潤一	
		2 ブループラネットを後世に	田中鐵二	
		1 謙虚に学び, 感謝する心を	金川千尋	

カテゴリー	年 Vol 巻 演題	執筆者
①巻頭言	12 触媒への期待	青木玲子
	11 イノベーション創出考	奥村直樹
	10 "人類福祉" に由来するシンボルマーク	鶴田禎二
	9 大競争時代を生き抜くために	徳丸克己
	8 女性化学者奨励賞新設	相馬芳枝
	7 化学と分析計測機器	中本晃
	2012 65 6 会長に就任して：転換期における化学者と化学会の役割	玉尾皓平
	5 日本化学会の速報誌を知っていますか？	檜山為次郎
	4 今、化学者に求められること	松永是
	3 21世紀以降のサステナブルかつ豊かな世界を支える d-ブロック遷移金属触媒を用いた有機合成	根岸英一
	2 そして化学が残った	宮本昭彦
	1 元素戦略：歴史観・世界観に裏打ちされた科学研究	中村栄一
	12 化学を学ぶのは楽しい	荻野和子
	11 Bull. Chem. Soc. Jpn. への投稿のすすめ	入江正浩
	10 化学とThe KAITEKI	小林喜光
	9 ベンチャースピリッツ：失敗を許すころとしくみ	河田聡
	2011 64 8 ダウンサイズのすすめ	米沢富美子
	7 「有機合成化学」と「シーラカンス」をつなぐものは？	岡田典弘
	6 『神業』を使いこなす高邁な哲学を持って	稲盛和夫
	5 自然の力と科学技術を謙虚に見直そう	佐藤年緒
	4 化学からの医療イノベーション	片岡一則
	5 研究開発の強靱化～リサーチトランスフォーメーション (RX) の実現を～	中山智弘
	4 子供たちに化学を！	佐藤健太郎
	3 創発型研究のススメ	射場英紀
	2021 74 3 講座制から欧米並みの研究室への改革——猶予できない日本の大学	山本 尚
2 科学者は社会にも目を向けよう	矢野寿彦	
1 基礎教養教育と博士課程の互恵的充実および「土型人材」育成の提言	榊 裕之	
12 研究者は「やれるかどうかわからない研究」にもっと挑もう	菅 裕明	
11 材料開発のDXに向けた協調戦略	河野禎市郎	
10 産学連携教育プラットフォーム——就職への道	山内 薫	
9 Misconduct? or Compliance! ～コンプライアンス意識を醸成しよう！～	浦田尚男	
9 我が国の大学院学生に給与を	山本 尚	
8 博士号で世界へGO！	上杉志成	
8 徹底討論！ 誌上論説フォーラム サイエンスのポピュリズム化	御園生 誠・有本建男・山本 尚	
2020 73 7 データからみえる日本の科学研究の現況と研究力向上への示唆	伊神正貫	
6 Society 5.0の大学教育と採用の実現に向けて	長谷川知子	
5 科学技術とポピュリズムについて考える	有本建男	
4 人口減少の課題解決こそ文理融合での研究が力量を発揮する絶好のチャンス ～しかし、学内での仕掛けが不可欠～	村上正紀	
3 挑戦を志す若手の皆さんへの新たな支援 ——創発的研究支援事業の創設とその背景について	岡村直子	
2 日本の学術研究の持続可能性確保に向けて	豊田長康	
1 何にも囚われない情熱ある研究を！	伊丹健一郎/	
2019 72 12 100年に一度の大変革を先導するオープンイノベーション ～「点」から「線」、さらに「面」の産学連携へ～	射場英紀	
11 基礎研究を重んじ、科学ポピュリズムを排す	御園生 誠	
10 講座制の果たしてきた役割と今後の姿——日本の学術研究が再び輝くための私案	渡辺芳人	
9 「外の世界に一步踏み出す」のススメ	上野京子	
8 恐ろしいサイエンスのポピュリズム化	山本 尚	
7 論文を書こう！	藤田 誠	
6 地方創生に貢献する徳島大学の取り組み	斉藤卓也	
5 地球課題解決に向けた科学技術と政治のインターフェースの強化 ——科学助言国際ネットワークとプラスチック海洋汚染の事例に見る	有本建男	

年	Vol	巻	演題	執筆者
		4	国際周期表年IYPT2019 特別寄稿	Celeste M. ROHLFING
			化学の世界にもっと女性リーダーを:米国の視点から	
2019	72	3	学会は自らタコソボ化を打破し, 学問・人材育成に更なる貢献を!	岩澤康裕
		2	地域産業構造の改革に向けた次世代産学連携の在り方とは?	川端和重
		1	大学革命のすすめ—管理から独自の経営へのアクション・プラン	山本 尚
		12	オープン・イノベーションで切り拓く価値創造:成功のカギは4段階のValueをつなぐこと	松本 毅
		11	競争的資金改革:基礎研究力強化に向けて	橋本和仁
		11	国連SDGs決議から3年:理念から実行へ	有本建男
		10	大学の基盤的な力の向上 —「選択と集中」から, 「ダイバーシティ確保」への転換とエフォートの可視化へ—	相田美砂子
		9	「成れの果て」にはならないぞ!~地方国立大学のサバイバル~	菅 誠治
2018	71	8	就職制度に思う	浦田尚男
		7	あなたの化学は「幸福の化学」か?	上杉志成
		6	数学と化学~デジタル化社会における新しい連携を探る~	小谷元子
		5	理系人材の就職活動時期は見直せ!	菅 裕明
		4	Society 5.0の実現に向けて~企業と大学によるイノベーション協創~	吉村 隆
		3	「新しい経済政策パッケージ」から大学における研究開発を考えよう	岡村直子
		2	研究者もSDGsを理解しよう	浦田尚男
		1	「オープンイノベーション機構」 大学内に新しい産学連携の場をつくれ	菅 裕明
		12	大学発ベンチャーに挑戦しよう! —いよいよ環境は整った	伊藤毅
		11	IUPACを日本の化学者の国際活動の場としよう	山内薫
		10	「教育の場」から「自ら学ぶ場」への転換を一新たなSBLの試み—	岡田益男
		10	One-world chemistry and the quest for global sustainability	Hansing Hopf, Gouriyan Mahtia, Alain Krief, Stephen A. Maitte
		9	民間企業で活躍できる研究者とは?	射場英紀
		8	非線形の生命科学に化学の参画を	桜田一洋
		8	野依良治「日本の科学技術力の再生はあるか」(2017年4月号掲載)に対する読者からの意見	
2017	70	7	大学改革は大学人の意識の覚醒と自助努力から始まる	上山隆大
		6	日本の大学改革	林 民生
		5	わが国の国際化からグローバル化への課題	巽 和行
		4	日本の科学技術力の再生はあるか	野依良治
		3	研究好きの大学院生が研究に熱中できる仕組みを産学でつくりませんか?	相田卓三
		2	財政的危機状態にある大学と今後の課題	渡辺芳人
		1	やっぱり, 基礎研究!	藤田 誠
		1	SDGs-STIプロジェクトJapanの推進	有本建男
		1	—国連・持続可能な開発目標2030アジェンダへの日本の科学技術の寄与	
		12	化学の魅力を伝えるために	山口潤一郎
		11	我が国の高等専門学校の将来に向けて	谷口 功
		10	育て! 「よりよい世界を創る人材」—リベラルアーツのすすめ—	上野京子
		9	化学界がリードする新しい産業連関の構築	中鉢良治
		8	産学連携で大学を強くするために	川上伸昭
		8	「おもしろい」の法則	上杉志成
		7	アカデミックな雰囲気が研究者を「醸成」させる	北川 宏
2016	69	6	経済成長を牽引する科学技術イノベーション戦略	久間和生
		6	—第5期科学技術基本計画への思い	
		5	産業界からの大学(院)教育への要望と期待—山野井論説から10年が経過して	浦田尚男
		4	技術屋もたまには工学でない本から方法論を学ぶのも面白い	小豆畑 茂
		3	指定国立大学(仮称)は経営的感覚をもって大学改革にあたれ	菅 裕明
		3	21世紀は科学技術の方法の革新を迫っている	有本建男
		2	高大接続改革と新テストの導入	山内薫
		1	若手研究者が育つ条件	細野秀雄
2015	68	12	当たり前であるが, R&Dのテーマは自分で見つける	小豆畑茂
		11	研究者に求められる新たな役割	浦田尚男

## ②論説

カテゴリー	年 Vol 巻 演題	執筆者
	10 基礎と応用の協奏を基軸とするイノベーションプロセス	高尾正敏
	9 水平分業のための共通基盤の構築に向けて——インダストリー4.0の衝撃から学ぶこと	射場英紀
	8 長期視点の経営が可能にする日本流イノベーション	阿部晃一
	7 イノベーション政策と国立大学改革	橋本和仁
	6 人の力を生かす環境をつくるには	辻篤子
	2015 68 5 グローバルサイエンスコース——学部講義を英語にしたらどうなるか	山内薫
	4 我が国の大学の国際化に対する一考察	奈良坂紘一
	3 オープンイノベーション推進に向けて化学業界に求めるもの	塚本建次
	2 新しい地球システム観は農学に学べ	平朝彦
	1 医療分野に係る新たな研究開発体制の発足に向けて	岡村直子
	1 学会出版の成功事例——英国王立化学会の戦略	Robert PARKER
	12 日本初edX 講義で見た多様な可能性	上杉志成
	11 フリーレクチャーになりたい	土井正男
	10 科学技術を支える化学——若い世代が実感できる機会を	上野京子
	9 大学研究者にイノベーションはできるのか?	菅裕明
	8 考える人を育てる高校の理科教育	辻篤子
	7 非常識と常識の結合のススメ: 新たな知財戦略を例に	三木俊克
	2014 67 6 産業界から見たイノベーション立国への課題——化学の市民権の確立をめざして	高橋恭平
	6 技術開発のイニシヤティブは社長自ら覚悟と決意をもって	笹岡三千雄
	5 日本の大学における理科系での革新的な新制度に注目しよう	サンドウー・アダルシュ
	4 Jマインド・イノベーション——日本人の心で再び開拓・創造の躍動感を	飯田汎
	3 リサーチ・アドミニストレーターの職種を確立しよう	山内薫
	2 産業競争力を支える"知の基盤"の再構築を	廣崎膨太郎
	1 サイエンスとイノベーションとのつながり——革新電池における基礎研究への期待	射場英紀
	12 企業の持続的成長とイノベーション	吉田淑則
	11 大学よ、大航海へ: リサーチマネジメントとドイツの国際競争力からの考察	Iris WIECZOREK
	10 分子技術-貫通型研究領域誕生への挑戦	山本尚
	10 政治と科学をつなぐ-新政権の科学技術イノベーション政策の具体化と課題	有本建男
	9 リサーチ・アドミニストレーターを活用しよう	山内薫
	8 大学の自律性向上を目指して学内専門人材を研究力強化のエンジンとして組み込もう	高橋真木子
	2013 66 7 学会からの国家政策提言への期待	岡村直子
	6 リスク・コミュニケーション——「専門家の三つの誤解」を正そう	小出五郎
	5 日本のモノづくりへの提言——イノベーション力の再生	山口紀子
	4 産業界から見たイノベーション立国への課題: 産学連携について	高橋恭平
	3 大学人は国家のあり方から大学を論じる言葉を作り出せ	上山隆大
	2 研究論文から見た化学の停滞と課題	岩澤康裕
	1 オープンパラダイムの新潮流	廣崎膨太郎
	12 Product-Service System——原点回帰の脱コモディティ戦略	下村芳樹
	11 CUDOSを忘れない PLACE 型化(科) 学者になれ!	菅裕明
	10 学生に情報教育を——科学技術の発展に貢献する人材育成のために	上野京子
	9 今後の情報・コミュニケーションのあり方について(考察)	岡見京子
	8 リオ地球サミットから20年——これからの持続可能性を考える	後藤達乎
	7 独法改革——研究開発システム強化のための改革を——	岩瀬公一
	6 科学と政治をつなぐ——科学と政治の接近とそのルール作り——	有本建男
	2012 65 5 エネルギー戦略論の道理と科学者精神	御園生誠
	5 大学教官に十分な研究時間を	山本尚
	4 ミスアラインメントと「社会貢献」	有信睦弘
	3 エネルギー転換のお国事情と未来への投資	北澤宏一
	2 時代精神の「脱・ガラバゴス化」を	小出五郎
	2 論説に対する読者からの意見	
	1 中国の化学工業の高度化に日本は積極的関与を	吉田浩二
	1 中東の石化産業戦略と日本の取り組み	武田眞
2011 64 12	新学習指導要領と高校の化学教育	村田滋

## ②論説

カテゴリー	年 Vol 巻 演題	執筆者
	11 21世紀のエネルギーパラダイム転換	飯田哲也
	10 国際的なキャリアパス 本当のグローバル化とは	川合真紀
	9 学生諸君, 大学院は将来への投資だ!	菅裕明
	8 世界化学年と化学の挑戦	岩澤康裕
②論説	2011 64 7 日本の化学産業が世界を追い抜く道筋	橘川武郎
	6 論説 若者は「外」へ出せ; 国際交流がなぜ大事か	黒川清
	5 未曾有の東日本大震災。心構えと必要な緊急対策	山本嘉則
	5 若い研究者に期待したいこと—力量あるプロポーザルを書く訓練を—	山本尚
	4 持続性時代における化学の役割と特質—世界化学年と第4期科学技術基本計画	有本建男
	2021 74 5 ハイビスカス酵母がつくる新しい酒 “泡盛”にフルーティな香りが仲間入り	
	1 知ればきっと飲みたくなる 美味しいデカフェコーヒーができるまで	
	2020 73 12 柔軟剤から最新研究まで “香り”を操る化学と技術	
	4 広がる3Dゲルプリンタの用途 デザイン思考が牽引する食のイノベーション	
	2019 72 10 長く住み続けるために ラジカル制御技術で新展開を見せる外壁用塗料	
	6 データの海から宝を見つけられるか?	
	6 ケモインフォマティクスが牽引する新しい化学研究の進め方	
	4 使い方から作り方まで大きく変わる未来の「紙」	
	2 既存の活用を一回り拡大させる シクロデキストリン研究の最前線	
	2018 71 11 火を使わずに, 速く, おいしく 進化する電子レンジ調理	
	9 生命維持に必要な基本物質の可能性を探って 好気呼吸に関わる	
	5-アミノレブリン酸を新たな医療へ	
	7 コピー機の要求に応え, 画像をつくる 複合樹脂微粒子・トナー	
	5 褐変現象で注目される食品から生体まで	
	3 注目のスパースモデリングデータ駆動科学は化学に何をもたらすのか	
	2017 70 11 コストを下げ生産性を上げる努力が続く新技術で変わりつつある植物工場	
	9 高速充放電可能, 大容量, 長寿命 実用化に近い次世代蓄電池「全固体電池」	
	7 人生100年の時代へ—超高齢社会で求められる科学技術	
	5 新しい価値を見いだす漆の化学—文化を絶やさないために	
	3 光る材料—みんなの安全を守る	
	1 分子技術の挑戦—イノベーションを起こせるか	
③OVERVIEW	11 おいしさを高め, 食の豊かさを生む熟成の世界	
	10 小さな泡に大きな期待 日本で生まれたファインバブル技術	
	9 どこまでわかっているのか 話題の腸内フローラとヨーグルト	
	8 化学オリンピック派遣13年 活躍する元代表生徒たちが考えること	
	7 まもなく開催, パラリンピック! 障がい者スポーツ選手の能力を発揮させる用具	
2016 69	6 次世代磁石への挑戦 最強ネオジム磁石を超えられるか?	
	5 新しい水循環システムへ 持続可能な水利用を目指す	
	4 日本にとって追い風となるか半導体産業は新たな時代へ	
	3 さり気ないのに多彩 多くの機能を期待される これからの窓	
	2 今知っておきたい日本の火山迫りくる噴火時代	
	1 もっと新しいワクワクをおもちゃで試される科学と技術	
	2015 68 12 高性能なデジタル機器にも対抗進化し続けるお札の偽造防止技術	
	11 草木染の魅力さをさぐる古の色にひそむ化学	
	10 物質特有の微細構造を巧みに利用 無機機能材料に新展開	
	9 油断は禁物 デング熱は終わっていない	
	8 ハワイ・マウナケア山頂に直径30 mの眼 次世代超大型望遠鏡TMTの視力を上げる技術	
	7 どこで生まれて, どこへ向かうのか旅するウナギの謎をとく	
	6 飛躍的な低消費電力や性能向上が見込める新材料 光・電子デバイスに革新をもたらす「量子ドット」	
	5 「その場にいる」「実物を見る」を映像技術で実現 4Kの実用性と8Kの将来性	
	4 カイコの優れた能力をいかせ 新たな養蚕業の始まり	
	3 ぐっすり, すっきり眠れていますか? 変わり始めた睡眠との付き合い方	
	2 おいしく, 食べやすく, 健康に 消費者のニーズに応えた野菜や果物づくり	

## ③OVERVIEW

2015	68	1	引き継がれ、発展する 和食と科学の美味しい関係
		12	いつまでも美しく健康でいるために 美容と健康に貢献する「ブラシ」
		11	おいしく、楽しく、健康的に微生物が生み出すチーズの力
		10	宇宙に行くもの、宇宙で誕生するもの 今、再び注目される宇宙材料
		9	熱を逃して機器の機能と安全性を守る「熱設計」の技術
		8	磁石なのか、ラジカル対なのか？ いまだ議論が続く 渡り鳥が地磁気を感じるメカニズム
2014	67	7	興味深く伝えよう！人が集まる「科学コミュニケーション」の秘訣
		6	生体分子に学び、難病治療に貢献 躍進する抗体医薬品
		5	サクサク、パリパリ おいしい食感の理由に迫る
		4	国家プロジェクトも始動！今、注目を集める「3Dプリンター」
		3	ダイアライザー開発100年 医療を支える膜技術
		2	入浴剤でもっと温まる。もっと楽しむ 入浴剤の科学
		1	「雪国」日本で発展 資源活用と被害対策 2つの側面で見ると雪氷学
		12	汚れを落とし、汚れを防ぐ 化学の目でみる掃除の知恵と技術
		11	おいしい笑顔が待っている レシピ広がる調理の科学
		10	欲しいものがきつと見つかる 高機能化する髪染めとネイルカラー
		9	心をいやす味と香りをどう生み出すか おいしいコーヒーを飲むために
		8	印刷からエレクトロニクスまで時代と共に進化し続ける「紙」
2013	66	7	軽量・丈夫・快適 便利になった山道具
		6	敵か味方かカビを知り、カビを制す
		5	暮らしを支える高分子 社会はゴムに何を求めるか
		4	材料からひも解く鉄道史 化学が支える安全・安心な鉄道
		3	夢をかなえてみせます 暮らしを彩る花化学
		2	科学技術の発展と共に歩み続ける 「単位」と「計量標準」
		1	伝統を守り、進化する日本の酒 本格焼酎とは何か
		12	大切な「家族」と快適に暮らすためにペットケアの科学
		11	感性と科学が交差するところ 音楽の世界を支える化学
		10	「くっきり」「すっきり」目をサポートする化学
		9	生命の起源と宇宙への道 宇宙・天文分野で活躍する化学
		8	釣りを楽しむための科学 季節の魚や自然と出会う
2012	65	7	人々の願いに応えるために デザインと化学が築く新しい関係
		6	世界一の記録をめざして オリンピックを支える科学の力
		5	どこまで見えるか？ 電子顕微鏡が目指す微小世界
		4	環境制御技術で農業をサイエンスベースに植物工場に新産業の予感
		3	血糖値コントロールが治療の鍵 進歩する糖尿病治療と新たな課題
		2	進化する水処理技術 下水から資源へ
		1	世界一の計算性能 「京」は化学に何をもたらすか
		12	人とロボットがともに暮らす社会へ 期待される次世代ロボット
		11	香りあふれる現代社会
		10	これから期待の新技术 進化するがんの治療と診断
		9	復興とさらなる防災への取り組み 大震災と研究者
2011	64	8	「磨く」化学 研磨と洗浄 それぞれの「磨く」技術
		7	電力不足を乗り切ろう 夏を快適に過ごす工夫
		6	"海の幸"の安定供給を目指して 新たな魚類養殖技術 みえないところを支えています
		6	バラエティに富む接着剤
		5	みえないところを支えています バラエティに富む接着剤
		4	コハクの一滴にせまる化学で語るウイスキーの味わい
2021	74	2	大学をとびだせ！ “商業化”のタマゴ ——先駆者に聞くスタートアップ企業
		11	科学コミュニケーターから見た“化学”「生きた化学」と社会とのつながり
④CHEM×STORY			低炭素社会実現のための循環型高分子材料の創製
2020	73	9	——JST研究開発プログラム「未来社会創造事業」の紹介
		8	Environmental Degradability ——高分子の精密分解と環境への影響

カテゴリー	年 Vol 巻 演題	執筆者
④CHEM×STORY	8 海洋プラスチック—過去の理解と将来予測	
	7 プラスチック問題の解決に果たす化学産業の役割と期待	
	7 New Sustainable Plastics —新しいプラスチック開発研究の潮流	
	2020 73 6 化学系企業の国内外共同研究および採用に関する実態調査 —産学官好循環システムの構築に向けて	
	6 New Plastics—低環境負荷社会を目指しての提言	
	2 “チョコレート・サイエンス” 美味しさの鍵は結晶に	
	2019 72 12 新たな段階迎えたジェネリック医薬品—医療保険制度維持の切り札になるか	
	2021 74 3 経営理念の実践を根本に据えて	株式会社ハチオウ
	5 産業の発展を支え続ける, 有機合成化学の匠たち	公益財団法人相模中央化学研究所
	2020 73 3 美容の世界に科学で迫る小さな研究所	ワミレスコスメティックス株式会社
	1 繊維の研究が生んだ電池のイノベーション	旭化成株式会社
	11 感光性樹脂フォトレジストで半導体産業の発展を牽引	JSR株式会社
	9 国産ソーダから医薬品の製剤化まで先の社会課題を見据えて 事業化してきたスピリッツ	日本曹達株式会社
	8 百年の歴史を経て未来の基礎化学を拓く“若手研究者”育成特化型の機関へ	公益財団法人 乙卯研究所
	2019 72 5 堺から世界を変えた「白い素材」 次の100年は「面白い素材」でわくわくする未来の種を創る	堺化学工業株式会社
	3 光学レンズ製造の常識を覆す素材メーカーが生んだオール樹脂ウエハレベルレンズ	株式会社ダイセル
	1 魚食にしかできないことがある。 地球に存在するサカナの可能性を, ヒトの健康へ繋ぐ	マルハニチロ株式会社
	12 飽くなき品質改善で, 合わせガラス用中間膜の 世界トップシェアを維持し続ける“際立ち”カルチャー	積水化学工業株式会社
	10 今こそ, ロッテノベーション! —機能と味に挑戦「健康を, おいしく。」— 時代のニーズに合わせた共進化で誕生した 薄くて割れにくいガラス	株式会社ロッテ
⑤我が社の自慢	2018 71 8 「ドラゴントレイル (Dragontrail®)」 独創的な触媒技術による塩酸酸化プロセスの工業化で, 石油化学産業の弱点を克服する	住友化学株式会社
	4 夢を夢で終わらせない 産官連携で実現した単層カーボンナノチューブの量産化	日本ゼオン株式会社
	2 積み重ねてきた合成ノウハウで業界の常識を打ち破る 従来品の200倍の導電率を誇る新規自己ドープ型導電性高分子の開発	東ソー株式会社
	12 ニーズに応えるこだわりが生んだ可能性殺菌・消毒から有機合成まで化学産業を支える次亜塩素酸ナトリウム結晶 (NaClO) の開発	日本軽金属株式会社
	10 伝統的な天然資源に新たな価値を「自然が生んだ宝」を使いこなし持続可能な産業を実現する	ハリマ化成株式会社
	2017 70 8 高感度DNAチップ「3D-Gene®」を開発 —血液中のマイクロRNAも検出できる	東レ株式会社
	6 SiC繊維 いざ, 大空へ飛びたたん—脆さを克服, 1800°Cの熱風に耐える	宇部興産株式会社
	4 粉体技術からナノ材料へ事業を展開PLGAナノ粒子が有効成分を浸透させ, 効果を引き出す	ホソカワミクロン株式会社
	2 社会のニーズに応え, 未来を切り開いた酵素配合洗剤—底辺からの復活, そしてトップシェアへ	ライオン株式会社
	2016 69 12 車の燃費向上に貢献する「粘着剤」 —時代の要求に応じて100年ENBから生まれた注目の新物質—強みを生かして事業を拡大	日東電工株式会社
	⑥特集	2021 74 5 H2O ~構造・物性研究の最先端~ 4 追悼特集『長倉三郎先生を偲んで』 2 新領域研究グループ『精密物質変換のための分子空間化学』紹介 1 教えて, 博士! ~博士号が拓く多様なキャリアパス~
12 12月恒例! 地方名産品の化学		
11 自然からつくり自然にかえる高分子		
2020 73 8 ソフトクリスタルが拓く新しい科学の世界		
6 分子が発動するサイエンス		
5 新しい「混ぜる」の化学		
3 マイクロ波化学のルネサンス		



年	Vol	巻	演題	執筆者
2020	73	2	ラマン散乱の最前線	
		1	分子を見る最前線：測定手法の革新と“新”化学の発見	
		12	12月恒例！ 地方名産品の化学	
		11	国際周期表年（IYPT2019）によせて	
2019	72	8	水素を活かす最新の科学と技術	
		6	いま熱い有機電解合成	
		5	分子夾雑化学—生命の理解・制御を加速する新しいコンセプト	
		4	広がる2次元材料の世界	
		2	化学の常識を変える化合物：中分子の世界	
		1	液体を使いこなした先端機能材料	
2018	71	12	12月恒例、地方名産品の化学	
		11	オープンサイエンス・オープンデータ	
		8	マテリアルズ・インフォマティクス	
		6	有機材料でつくる蓄電池～省資源と高性能は両立できるか～	
		5	カーボンニュートラル～化学が創る持続可能な社会～	
		4	未来を化学の力で元気にする 元素ブロック材料	
		2	分析技術～10年で何が進化したか	
		1	研究現場における安全 一産官学および他国の安全ことしだい	
		12	12月恒例! 地方名産品の化学	
		11	化学の力で進化する食～より安全で美味しい食品を求めて～	
2017	70	8	環境を守り、エネルギーを生み出す夢の膜工学	
		6	生体に優しく、賢い未来材料“生体適合材料”	
		5	相乗効果を産み出す層状構造	
		4	光応答分子の化学	
		2	空気を使う機能材料～エアロゲル	
		1	日本発次世代創薬のための化学	
2016	69	12	今年も地方名産品の化学	
		11	CO2資源化：研究者たちの挑戦	
		8	不凍タンパク質～凍らせない技術が今熱い	
		6	ラストフロンティア：地球深部を探る	
		5	その場観察で何がわかるか？	
		4	希土類・アクチノイドの化学の今と展望	
		2	広がるマイクロ流路の可能性	
		1	未来の「水素社会」を支える最新の技術開発動向	
2015	68	12	突撃！ 地方名産品の化学	
		11	国際光年にあたっての「光と生物の分子化学」	
		8	極限環境生物の分子化学	
		6	ゲル微粒子 ソフトな微粒子が醸し出す豊かな機能	
		5	ナノメディシン	
		4	イグノーベル賞	
		2	レーザーと物質のフロンティアインターアクション	
		1	ついに発売！ 料電池自動車の開発動向	
		12	密着！ 地方名産品の化学	
		11	ダイヤモンドの化学	
2014	67	10	金属と光がつくりだすナノワールド：プラズモニクス	
		8	ここまで実現した夢の材料研究	
		6	持続可能社会に向けて進化する有機分子触媒	
		5	いま脚光を浴びる国産資源 開発の現状と将来	
		4	有機ELの開発最前線	
		2	網羅的解析で何がわかるのか？	
2013	66	1	世界結晶年（IYCr2014）によせて	
		12	おまちかね地方名産品の化学	
		11	モノレイヤーの科学、ナノシートの世界②	
		10	日本の分析機器の歴史と未来	

## ⑥特集

カテゴリー	年	Vol	巻	演題	執筆者				
⑥特集	2013	66	8	シェールガス革命—エネルギー資源状況激変か？					
			6	メタマテリアル 光の常識を破る					
			5	ナノ科学——ナノ科学が拓く技術変革					
			4	モノレイヤーの科学—グラフェンナノシートの可能性					
			2	バイオインスパイアードマテリアルの最前線					
			1	純度の化学					
	2012	65	12	とことん地方名産品の化学					
			11	我が国化学産業は生き残れるか?新しい成長の道					
			10	岩石と水の反応から地球史に迫る					
			8	低炭素社会を支える不均一触媒					
			6	バイオ電池の最前線					
			5	固体イオニクス研究の最前線					
	2011	64	4	傷ついても蘇る！自己修復性材料開発の最前線					
			2	美しい形の分子					
			1	海外で活躍する若手研究者					
			12	もっともっと地方名産品の化学					
			11	電気エネルギーをいかに確保するか					
			10	レアメタル採掘・回収・代替の新技术					
	特別頁 祝 吉野 彰先生 ノーベル化学賞	2019	72	11	祝辞	日本化学会会長 川合真紀			
				会長メッセージ	2011	64	5	東日本大震災への哀悼の意とお見舞い及び支援	岩澤康裕
				会長メッセージ	2011	64	4	公益社団法人日本化学会のスタートに際して	岩澤康裕